

厚生労働科学研究費補助金
障害者政策総合研究事業（感覚器障害分野）
分担研究報告書

聴覚障害児支援のための研修プログラム・テキスト開発のための研究：
聴覚障害における基礎領域に関するテキスト開発

分担研究者：野原 信（帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科 講師）

研究要旨

聴覚障害における基礎領域に関するテキスト開発として、「聴覚障害の重症度と福祉の助成」「健常児の聴覚発達」「各種発達検査・知能検査・言語検査と実施上の配慮点」「聴覚障害の評価・診断に用いる各種の聴覚検査」に関するテキスト作成を行った。作成された内容は、聴覚障害児支援のための研修プログラム・テキストA <基礎研修> (2)領域2：聴覚障害・視覚障害の評価・診断の基礎： 聴覚障害の評価・診断の基礎】に組み込まれた。今後、児童発達支援現場の初任者の学習の一助となることが期待される。

A．研究目的

聴覚障害における基礎領域に関するテキストの開発として、「聴覚障害の重症度と福祉の助成」「健常児の聴覚発達」「各種発達検査・知能検査・言語検査と実施上の配慮点」「聴覚障害の評価・診断に用いる各種の聴覚検査」について、関連する情報を収集しテキストを作成する。

B．研究方法

関連する資料を収集し、テキストの執筆を行う。関連する資料収集は、平成30年4～11月、テキストの執筆は平成30年8月～同年12月末に行う。その後、文書校正を行った。
(倫理面への配慮)テキストに具体的ケース(エピソードや写真)を紹介する場合は、患者のプライバシーに配慮し、個人を特定できないよう十分に注意を払った。

C．研究結果

関連する資料の収集および、該当領域の有識者との意見交換をふまえてテキストを作成した。なお、「聴覚障害の評価・診断に用いる各種の聴覚検査」については、黒田生子氏との共同執筆となった。作成したテキストは、聴覚

障害児支援のための研修プログラム・テキストのA <基礎研修> (2)領域2：聴覚障害・視覚障害の評価・診断の基礎： 聴覚障害の評価・診断の基礎】に組み込まれた。

D．考察 テキスト作成において、図表の挿入や平易な言葉を使用するなどの配慮を行った。本テキストを使うことで、聴覚障がい児の療育に必要な医学的知識および発達評価と支援の方法について、児童発達支援現場の初任者の理解を促せることが期待できる。

E．結論

聴覚障害における基礎領域に関するテキストの開発を行った。今後、児童発達支援現場の初任者の学習教材としての利用が期待される。

F．研究発表

1. 著書：

野原 信(2020 予定)「第1章(以下同) 聴覚障害の評価・診断に用いる各種の聴覚検査」,「聴覚障害の重症度と福祉の助成」,「健常児の聴覚発達」,「各種発達検査・知能検査・言語検査

と実施上の配慮点」所収 黒田生子ほか編著・監修『聴覚障がい児・盲ろう児の発達支援テキスト（DVD 付き）基礎編』 エスコアール

2. 論文発表 なし

3. 学会発表

○黒田生子、森尚彫、野原信、森つくり、熊井正之、原田勇彦「聴覚障がい児・視覚聴覚二重障がい児の早期発達支援～児童発達支援初任者用研修プログラムの開発について」第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会 神戸 2018

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし